## 會學濟經學大國帝都京

## 叢論濟經

號 四 第

卷五十第

行败日一月十年一十年大

										-			
小賣相場と卸賣相場・・・・	一九二一年英領印度勞働爭議	雜錄	租税負擔の地方別研究 ・・・	說苑	營業税論 ・・・・・・	物價調節問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	詩	經濟と自由・・・・・・	階級に就いて・・・・・	時機尙早なる社會革命の企 .	傳統派の社會連帯思想 ・・・	<b>公</b> 洲 學	
法學士 汐見 三郎	學士 柴田規矩		法學士 汐見 三郎		法學博士 小川鄉太郎	法學博士 河田 嗣郎		經濟學士 堋 經 夫	文學博士 高田 保馬	. 法學博士 河 上 隆	交學博士 米田庄太郎		

雞

ける

. 勞働:

争議の

狀况を印

度政府勞働

局 岞 議

 $\sigma$ 

集 度 發

0)

統計を基とし、

之れを地方別及勞働

Ö) む Ĭ. 生

從

多からんとするの |働者に勢力を及ば

傾向

あ

50

乍

於

茲に勞働

\$

0)

劵

事 處

する業務別に依り示せば次表の如

年 中

枈 田 規 妇 =

0) 頻發 せる事今更こさ新 L

漸次世界の大勢に從は に伴ふ生 度に於ても、 派 活の 0 しむるに至 政 沿運動 歴迫とは彼等 最近勞動者 ક્ ħ 直 加 接間 ζ r 0 自覺 るに 接 Ŧ な h る

と諸物

傮 p,

[ 騰貴

英國

ŀχ

府

非協

訚

第

地

方

別

绺

働

4

韼

發生少

h

郋

述ぶる迄もなき處

なるが、

比較的此種

爭

議

0)

Ł ħ

近各國勞働爭議

数等に於ては尚且 は正確なるものを得る事甚だ困難にて、 ກຸ້ の報告と雖も發生せる爭議 茲に 正確を期し のど見ること能 は 注意す 乍然印度勞働爭議の大體の趨勢を察知 決して不足なし。 ろう ~: きは印字 ありご雖 は つ近似敷 đ 度に於ては、 殊 に當 たるを発 Ę の全 局は 罷業人員及 部 出來得 此 r を網維せ 種 ざること 各州 の統 Œ る限 Z ţ

1.

画に Bengal Bihar 10八、0421 一、大元、元四 三、六 and Orissa 一番八品 Bom bay 美、き まるが Burma

=

图、块合

門、二公

¥′010

三年,0年

**麦兰、一芸** 

₫.

Central

Province

Madras

Punjab

and

Delhi

United

Province

計

争談

Assam

闪

容 州

艦 器

員

1,000

延

E

1,000

九二一年中の英領印度勞働爭議

第十五卷

**大三、三盆** 

107 70

八量、二九三六、六世、八六

(第四號 一五九) 六三七

	因原	【ノ夢	<b>終</b> 能		延龍	能業	髭業	内 藩 業			果		彩	त्रे		因原	(ノ)	終程		
其	開發		于	_==	月 披梁	А	竹	容勝業		-	不	不		成	Į	勞		手	賃	
他	間倒	項的	當	<i>990</i> 2	<b>双</b> 彩 一	. 风	數					成	部成			働時	的事			雜
三		完	五九	, Mil	き、とは、	[K0 <b>″</b> 200]	三	Cotton Mills		Ę	刃	功	功	功	他	閒	項	當	銀	絲
0	=	<del>2</del>	70	_	氏さと、云岳野 ンサン・ンさた、	别成,即	늣	Jute Mills	第二	_	_	0	0	0	0	0	0	ല	_	九二一年中の英領印度勞働爭議
35.	=		_	^			^	Enginearing	業											iμ ⊒•
ブマ	=	_	_	10	穴0、盘室	第10,年	三	Engineering Works	務	2 5	<u>=</u>	五九	말	=	蘳	p=1	Ę	34 <u>.</u>		英領
					\frac{7}{2}	ti St		Railways	別											度
^	=.	^	0	≕	一人占、大人	0/ <u>®</u> 10	큿	·	勞働	=	~	0	<b>3</b> 4.	0	六	0	0	0	莊	分働争業
	0	0	0	吴	医三进	118,411	<u> </u>	Mines	爭								_	50 <del>2</del>	P754	<b>所我</b>
_	J	_	<u></u>	<b>⊅</b> <	1110人的	》[8]	Ξ	Tramways, Taxis	議	,	~	担		奕	凹	<b>K</b> 23 ·	굿	吳	<b>8</b> 0	
<b>=</b> .	0	0	0	^	50,05年	六乙	=	Municipal		;	<u></u>	Ξ	六	靐	=	0	45	0	≓	第十
æĽ	0	0	=	ᄼ		三,0公司	KEI	Printing Press		ij	0		<u>==</u>	_	ر	_	ں	<b>=</b> :	프	第十五卷
				-1:2	MEO,086	107	שלם	Shipping and Docks												(第四號
0	0 0	<u> </u>	- 0	-ts	0.1月1	014,13	九	Tea Gardens		-	<b>*</b>	<b>≯</b> i1	341	EFE.	تك	_	*	-	ЭÜ	1六0)
0	0	0	_	<b>2</b> ±1	O (1), {:休1	、九四三	95°.	· Oil Works		:	<b>.</b>	로	=	0			0	0	-난3	)
=	_	九	人	<u>=</u>	400、六人七	11十1、杜图	芒	Miscellaneous			<u></u>	0.1	四	=	=	0	武	10	Æ	^
					X.公	<b>3</b> 5		合	=											
ち	10	交运	芒	-13 121 121	大、大型、人穴三	五三、二萬	300	計			夳	六	全	仌	氕	10	호	宝	四十二	

雑 綠 一九二一年中の英領印度勞働爭議	四百件中百五十三件乃ち三割八分、人員四、業務別に見れば、紡績工場罷業最多く	八件と比較するに殆んご伯仲の間にあり。	件、合計百七十件にて、不成功のもの百六十	件中八十八件、一部達したるものは八十二	三、罷業の目的を完全に達したるものは四百	目すべし。	少く、僅かに十件を敷ふるに過ぎざるは注	を占む。勞働時間に原因するものは比較的	總數四百件中百七十四件則ち四割三分五厘	二、罷業の原因は勿論質銀問題を第一とし、	後者にはジュート工場多きに基く。	ル州にして、是れ前者には紡績工場多く、	一、罷業の最多き地方は孟買州及びベンゴー	得べし。	以上の統計によりて、略を次の事情を歸納し	1		(東京) [七 八 10 m 112]	成
第十五卷	り 等									多	Ŧį,	に當る。	ţ	業	總	1 1	Û.	玉七	o =
土卷 (第四號	りの日敷比較的多きことも注目すべし。等にして、殊に運輸關係罷業に於て、		第四、雪	•-	第三、鐵		第二、印		第一、船	多きは	干係人員	<i>چ</i>	ち約二割七分、	業總日敷六百六十四萬に對し百七十八萬乃	總計五十二萬に對し十六萬乃ち約三割、	三	350	=	<b>29</b>
	数的多がに運		電車、		級		刷刷		舶		の割		分、	合六	高に	五	_	_	==
一六二	きこと	一人當り十	タクシ	一人當		一人當	Τ.	一人営	船		の割合に比し、			十四萬	對し十	፷.	=-	उद्य	0
六三九	も注言	5 十	ł	人當り二十六日	道	人當り二十七日	場	人當り三十六日	渠					に對し	-六萬元	0	=	==	0
	?較的多きことも注目すべし。殊に運輸關係罷業に於て、一	八日		十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		七日		上六日			罷業日敷の割合			一百七十	力も約三	<u> </u>	耄	 Æ	^
	一人當										の割合			八萬乃	割、罷	21	六	슾	<b>?</b>